

平成23年度事業報告書

総括的概要

総括的概要

当地域における平成23年度の経済状況は、村上市景況調査からみると、第3四半期(4月～12月)までは緩やかながら持ち直しの動きが続いていたものの、第4四半期(1月～3月)において、大雪によって消費行動が鈍くなった飲食や宿泊業、卸・小売業と採算性が悪化した製造業で、業況判断DIの落ち込みがみられました。

懸案の日本海東北自動車道については、昨年8月、朝日まほろばIC～あつみ温泉ICまで「計画段階評価」が発表になり、11月に3ルート(A最短・B国道7号と接続・C笹川流れへのアクセス)についてのアンケートが実施され、1月には国道7号に沿ったBルートに決定されました。これから、環境アセスメントを経て、事業着手へと進み、開通までは10数年が見込まれます。また、土質の問題から開通が延期されていた、村上瀬波温泉IC入口から山居町までのアクセス道路「県道岩船港線」も12月に開通しました。

雇用情勢においては、村上公共職業安定所管内のパートを除く常用の有効求人倍率は、平成23年3月末において0.51倍であり、低水準ではありますが前年度末と比べ0.06ポイントの改善がみられています。

村上商工会議所・中小企業相談所の事業について

村上商工会議所の会員数は、廃業や事業縮小、諸事情による退会が54事業所ありましたが、会員拡大に努め26事業所に入会いただき、年度末で959会員となっています。

要望活動としては、高速交通体系の促進、歴史景観まちづくり、村上駅周辺の町づくり、企業誘致と子育て支援、観光協会の財政支援、まちなか観光客向けトイレの設置、道路案内板の提案、プレミアム商品券の発行などについて村上市長はじめ関係先に、緊急要望として東日本大震災による自粛ムードの払拭、プレミアム商品券の追加発行について村上市長並びに村上市議会議長に、新潟県商工会議所連合会を通じて新潟県の産業振興施策に対する要望、日本商工会議所、新潟県商工会議所連合会と共に中小企業・小規模事業対策関連予算の確保、事業承継などの中小企業活力増進のための税制改正など、多くの事項を政府、関係省庁に対して要望いたしました。

地域振興事業として、新たに「寺社の由来案内看板設置」事業として看板設置のほかに地域の魅力発掘講座や寺社検定などの実施、継続事業として「村上市プレミアム商品券の発行」、「長野県松本市へのまちづくり視察」、「クーポンマガジン むらかみ」、「村上産鮭100%の『鮭の魚醤油』」販売、「ブラックボードセミナー」、「接客・販売術スキルアップセミナー」、「いにしえの旅・城下町村上の寺社巡り」、「村上・岩船景観会議」の運営、さいたま市での「コラボさいたま」への参加、「日東道沿線の魅力と地域の活性化講演会」、「駅から広がるまちづくり・飛騨古川と富山市八尾視察」、「駅から広がるまちづくりアンケート」、「観光地クリーンアップ作戦」、東京日本橋NICOプラザでの「鮭・酒・人情(なさけ)越後村上の物産まつり」の開催など、部会活動も活発に行いました。

会員親睦事業として、会員拡大・親善ゴルフ大会、例年の新年会員大会を開催しました。

調査広報活動として、村上市景況調査は四半期ごとに実施し、会員情報として会員の皆様に報告し、ホームページによる情報提供、むらかみ商工会議所ニュースの村上地区全戸配布は定着し好評をいただいております。

そして、村上市観光協会をはじめとして、岩船郡村上市雇用対策協議会、税務団体等の事業に積極的に参画、役職員が村上市はじめ各種団体の委員として協力をしてまいりました。また、会員の福祉向上を図るため、提携している「にいがた県共済」「アクサ生命保険」の新しい商品の提供や、会員の健康診断を4回実施し、更に永年勤続従業員表彰では村上木彫堆朱を記念品として贈呈させていただきました。

青年部は、年度末会員数105名。三面川中州公園で開催した「いいねっか村上」では、多くの方々の来場をみることができ、空き店舗活用事業として運営している「町屋cafe蒼や」は通年営業3年を終えました。何より1月に開催された「城下町しばた・全国雑煮合戦」では、一昨年の「絶品！村上牛雑煮」、昨年の「城下町村上・町屋のてっぱん雑煮」に続き「村上元気の源（みなもと）雑煮」が、グランプリである『征夷大將軍』に輝き、3連覇の快挙を成し遂げ、その3種類の雑煮を3月に「雑煮合戦 村上の陣！」として約2000食を市民や観光客の皆様に堪能していただくことができました。

中小企業相談所では、経営指導員、記帳専任職員などを配置するとともに、小規模企業振興委員を通じた会員企業の相談事業に努め、主な実績としては経営指導員による巡回・窓口相談が1,566件。経済活性化セミナーなど各種研修会・説明会の集団指導は14回。税理士、弁護士などの専門相談指導は23回を数えました。また、当商工会議所が推薦する無担保無保証人融資の小規模事業者経営改善貸付をはじめとする国、県、市の金融貸付制度では101件、約3億8千5百万円の斡旋を行いました。また、個人の所得税申告と消費税申告は547件(内決算代行174件)を数え、労働保険は238件の委託を受け、中小企業者の事務軽減に努めてまいりました。

平成23年度の収支決算について

平成23年度の収支決算については、一般会計の会費収入と事務委託料収入、共済事業収入で若干の減額となったものの、空き店舗活用事業やプレミアム商品券事業収入などで大きな増収となりました。支出においては節減に努め、4か年度続けて建物等改修積立金(減価償却費)勘定に積立を行うことができ、さらに、3か年続けて財政調整積立金勘定に積立を行うことができました。金額としては一般会計1億2千2百万円、中小企業相談所特別会計4千3百万円の決算額、4つの積立金会計残高が4千2百万円として報告させていただきます。会員皆さま方のご理解とご支援に深く感謝を申し上げます次第です。

平成24年5月

村 上 商 工 会 議 所

会 頭 佐 藤 久 也